

すぎのこつうしん

平成29年度12月号
古川東町カトリック保育園

「与え合う心を育みましょう」

初雪も降り、日を迫る毎に寒くなってきました。子ども達は外に出る時、カラー帽子から毛糸の帽子へと衣替えをしています。寒い時にはどうぞ冬物の帽子を被せてあげてください。

そろそろ巷ではインフルエンザの声が聞こえているようです。流行にのらないよう予防接種、うがい、手洗いを徹底していただきたいと思います。集団生活ですので一人一人が気を付けたいですね。園中に職員は毎年全員予防接種を受けるようになっていきます。(それでも園長は昨年度の2月に加齢の為か罹患してしまいましたか…)

いよいよ12月、クリスマスの季節です。クリスマス祝会も近づいてきました。聖劇、遊戯、楽器あそび等、楽しみながらも懸命に練習しているようです。子ども達が一生懸命に取り組んでいる姿は何事にもかえがたい素晴らしい姿だと思います。小さな体で一杯私たちに愛を与えてくれていることに心が動かされます。

私たちに幸福を与えてくれる子ども達のために、私たち大人が温かい目で見守り、その健やかな成長のために力を注ぐことが私たちが与えることのできるものなのだと思います。子どもに何かを買い与えることが与えることではありません。子どもに愛情を注ぐことが与えることです。子どもに応答的に接する事こそ愛情を与え合うことです。

スマホやゲームで子守りをさせたり、子どもを無視するような態度をとるのは虐待に他ならないということを肝に銘じてほしいと思います。

< 園長 平野義子 >

12月生まれのおともだち

おたんじょうびおめでとう



♪ 12月のうた ♪

「あめのみつかいの」

- ① あめのみつかいのうたごえびびく ほしかげさやかかなまきほのぞらに
※グローリア インエクセルシステオ グローリア インエクセルシステオ
- ② まずしいうまのめぐみのみこに ほめうたささげてよろこびうたう
※くいかえし

「こぎつね」

- ① こぎつねコンコンやまのなか やまのなか
くさのみつぶして おけしょうしたい もみじのかんざしつげのくし
- ② こぎつねコンコン ふゆのやま ふゆのやま
かれはのきものじゃぬうにもぬえず きれいなもようのはなもなし



おとうさん・おかあさんから

2歳の入園でこい組からお世話になりました。初めはなかなかお友達と馴染めず遊べなかつたり、弟が生まれて赤ちゃん返りをした時期があり、朝は私から離れられませんでした。そんな〇〇を理解し私の相談にも親身になってくれた先生方、〇〇と仲良く遊んでくれたお友達、本当にありがとうございました。保育園での生活も後少しなので、友達との思い出をたくさん作ってほしいです。

(ひつじ組 ○○○○ ○○○ くんのお母さん)



☆ 行 事 予 定 ☆

8日(金) クリスマス祝い会総練習	22日(金) 誕生会
15日(金) クリスマス祝い会	25日(月) クリスマス礼拝
19日(火) 大塚ホーム訪問 (ひよこ組~ひつじ組)	28日(木) 保育納め
7日避難訓練	29日(金)~1月3日(水)まで お休みです

★ ぼんび組 (0歳児)

〈ねらい〉

- ・生活や遊びの中で「どうぞ」と差し出そうとする
- ・簡単な言葉を理解し、喃語や片言で意思表示することを楽しむ

〈家庭連携〉

- ・生活や遊びの中で玩具などを「どうぞ」と差し出すことができるよう、やり取りをしながら知らせていきましょう。
- ・子どもに分かりやすいような簡単な言葉でゆっくり話しましょう。また、真似したり、話すことが楽しいと感じられるよう関わっていきましょう。
- ・寒い季節になりますか、厚着にならないようにしましょう。



★ ひよこ組 (1歳児)

〈ねらい〉

- ・与えられた心地良さを知り、譲り合おうとする
- ・寒さに負けず暖かい日は戸外で体を動かして遊ぶ

〈家庭連携〉

- ・貸してもらった時の心地良さを感しながら「かして」「いよ」とやり取りができるよう知らせていきましょう。
- ・天候の良い日は戸外に誘い、親子の触れ合いを楽しみながら体を動かすことで丈夫な体を作しましょう。

★ ことい組 (2歳児)

〈ねらい〉

- ・分け合うことの気持ち良さを知り、与え合おうとする
- ・劇あそびや遊戯を通して表現する楽しさを味わう

〈家庭連携〉

- ・生活の中で分け合う機会を作り、分け合うことの気持ち良さを知る機会を作しましょう。
- ・帽子や手袋で寒さ対策をしましょう。
- ・レジ袋に名前を書いて、個人の棚に入れておいてください。



★ こねこ組 (3歳児)

〈ねらい〉

- ・分け合う、譲り合う経験を通し、思いやる心が育つ
- ・自分なりに表現したり、友だちと表現する楽しさを味わう

〈家庭連携〉

- ・家庭でも分け合ったり譲り合う機会を作り、その気持ち良さや大切さを感じられるようにしましょう。
- ・クリスマス祝いの練習を延長している姿を認め、クリスマス祝いに期待が持てるようにしましょう。

★ うさぎ組 (4歳児)

〈ねらい〉

- ・人との関わりの中で譲り合い、与え合う心が育つ
- ・表現する喜びや感動を共有し、楽しむ

〈家庭連携〉

- ・家庭でもお父さんお母さんが、譲られたい与えられたいする機会がありましたら嬉しさを伝え、子どもたちの優しい心を育てていきましょう。

・毎日クリスマス祝いの練習を延長しています。励ますことで期待を高めていきましょう。

★ ひつじ組 (5歳児)

〈ねらい〉

- ・周りの人と与え合う思いやりの心が育つ
- ・冬の事象に興味を持ち、発見したことや気付いたことを友だちと伝え合ったり、わからないことを調べたりする

〈家庭連携〉

- ・自分の思いだけを通そうとするのではなく、相手の気持ちを考えたり、受け入れる大切さを生活の中で知らせましょう。
- ・霜柱や氷、吐く息の白さなど、子ども達の気付きや発見に共感してあげ、自然への探究心を高められるようにしていきましょう

◆ 給食室 ◆

寒さが厳しくなってきました。体調を崩しやすい季節です。風邪を予防するためにはビタミンC、ビタミンE、ビタミンA、ビタミンB2など…たくさんの栄養が必要ですので好き嫌いをせず何でも食べましょう。



「与え合う心を育みましょう」

先日の土曜保育でのおやつ時間、3・4枚のおせんべいのおかわりを求めて「ほくも！」「わたしも！」と十数人の子ども達が集まってきました。「さあどうしよう…」と分けていた保育士は少々悩みましたが、食べたいと言った子達に行き渡るよう小さく割って分けてくれました。1人ひとりに分けられた量だとえー口サイズの小さいものでも「おいしいね」「やったね」と友だち同士で言い合いながら食べる姿を見て、とても温かい気持ちになりました。

自分だけが満足すればそれでいいんだ、ではなくみんなで共有することで、楽しい事や嬉しい事は何倍にもなることを生活の中で経験し、感じられているのだと思いました。大人になると忘れがちですが、そのような子ども達の純粋な心を見習っていききたいものです。

〈ぼんび組担任 大場 千佳子〉

おしらせ

★募金活動をおこないます。詳しくは後日お知らせしますのでご協力お願いします。

★年末の休みに入る前に衣類等をお返しいたします。大きい袋を持って来て下さい。

★年末年始中の緊急連絡は携帯電話(090-2999-9171)にお願します。

事故や怪我をしないようお過ごしください。

★1月4日(木)食材の仕入れの都合上お弁当持参をお願いします。



あなたの一分間拝借

2017年12月1日

2017年もあと一ヶ月で幕を閉じます。まさに光陰矢のごとしです。誰しも良い一年を願った苦でしたが、やはり人災、天災の多い一年になりました。最後の12月だけでも最良の月となるように祈念してやまないものです。

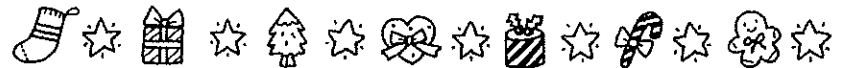
12月の人間性教育のテーマは、「あたえ合う心の育成に力を尽くしましょう！」です。私たちの地球には、70億人の人々が住んでいます。そのうち10億人が日常のパンに事欠く現実が特にアフリカ大陸に存在しており、6秒に1人が餓死しているといわれていることに心の目を向け、公的機関を通して支援し合うよう12月の優先課題として実践いたしましょう。(例、カリタスジャパン、歳末助け合い運動e+c)

聖書によれば、救い主イエスへの道を整えるために神より派遣された男洗礼者ヨハネの言葉がクリスマスの心を「あたえ合う心」の深層として示されていることに目を留めていただきたいものです。「あなたの心の高い所を低め、低い所を高めるようにしなさい。」「あなたに4キロ歩きたいと求めたら、8キロ共に歩きなさい」イエスも「人を支援する時は、右の手のすることを左の手に知らせてはならない、神だけに分かるようにしなさい」と言っております。

自己中心的な子ども達に「あたえ合う心の深層」を体験させることは非常に至難な事と思いますが、人間性教育の一環として乗り越えなければ成らないことだけに心して取って挑戦されるよう前向きに行ってほしいです

人間の欲望には際限がありません。中には損得を計算してあたえる人々もいます。大人の悪しき欲望が「あたえ合う心」を曲解し、不純不正な行為に走り、「あたえ合う心」の深層をフ千壊してしまい、小さな心に躓き(つまづき)をあたえかねません。そんなことにならないように自重自戒いたしましょう。大人である私たちが悪の権化に成らないよう慎みましよう。子どもは何処でも試験官であることを忘れないことですね！

誰も見ていなくても神だけが全てをご存知でいらっしやいます。



尚、「あたえ合う心の実践」のために、次の事に注意してほしいと思います。それは英語の疑問詞(⑤W+①H)の公式を心に入れて指示していただきたい。子ども達への指導の一端となれば幸いです。

- ① why? (なぜ?) 与える理由
- ② when? (いつ?) 与えるにふさわしい時を調査する
- ③ what? (なにを?) 与えるものは金品だけではないことに注意(時間、笑顔等)
- ④ who? (誰に?) お返しできない人々の優先 小さな人々e+c
- ⑤ where? (どこに?) 恵まれていない環境にいる人々の優先 身障者・病者e+c
- ⑥ how? (どのように?) 隠れた行為、匿名、神にだけ分かる好意

この中でhow?が一番大切なことといわれています。聖書では「多く恵まれている人は、多く求められている」と警告しています。日本に生まれてきた人間と砂漠地域に生きている人々恵まれた環境に生きている人々では、どれだけの違いがあるのか。その訳は神の教習にお任せする以外に方法はないのではないのでしょうか。資源、食物、知識や技術等の分かち合いによって差別なく且つ平等に支援し合う世の中の創造にベストを尽くすようにしなければならぬと思う御にです。

「人事を尽くして天命を待つ！」人間の果敢な姿、明日(あす)は我が身であることを忘れず、愛の道を選んで前進したいものです。まさに、「愛は右の手がすることを左の手に知らせないように」という福音的呼び掛けに従ってこそ、本当の「あたえ合う心」による見える世界が実現されると信じます。なぜなら、そこには、なんらの取引、損得勘定や醜い計算ずくの闇取引がないからです。金銭、物品そのものは、悪ではありません。それらを取り扱う人間がいつか悪しき欲望に負け誘惑に喰われて、社会秩序を乱すまで心が触まれていく哀れな姿は古今東西の歴史の示す通りです。今や世界は、私たち一人一人に経済技術の協力だけでなく、それにもまして道義的大国になってほしいと言われていることをどれだけの人々が、真剣に捉えているでしょうか・・・。

12月はあたえかた?!!について重点的に(how?)熟慮してその実践に最善を尽くしましょう！神の子イエスは何を教えるために乳児としてうまの飼いや糞桶にお生まれになったのでしょうか？を黙想し、クリスマスのミサに与りながらその恵みを共に願いましょう。

カトリック古川教会

司祭 川井 啓

